

美しいまち  
とけ込む文化

# 第8回 しまね景観賞



島 根 県



## はじめに

---



島根県知事 **澄田信義**

豊かな自然や伝統文化に恵まれた私たちのふるさと島根は、それぞれの地域で個性的な景観が形づくられています。

これらの景観を守り、創り、育て、心の豊かさを育む快適な環境を創ることを目的として、平成3年12月に「ふるさと島根の景観づくり条例」を制定しました。それ以来、ふるさと島根の景観を保全し、創り出す様々な活動が行われてきました。その中で、地域の景観づくりに特に貢献の大きなものを表彰する「しまね景観賞」は、行政、県民、事業者の方が、それぞれの立場、それぞれの地域で、景観に関心を持ち、景観に対する意識を高めるのに寄与しているものと考えております。

新しい世紀を迎え、「しまね景観賞」が景観への関心をさらに高め、心の豊かさと活力にあふれる地域をつくるための一助になることを期待いたします。

受賞されました皆様に、心からお祝いを申し上げますとともに、選定に当たり御尽力いただきました「しまね景観賞審査委員」の皆様並びにこの趣旨に賛同し応募をいただきました皆様に対しまして、厚くお礼申し上げます。

平成13年2月



## 選考総評



しまね景観賞審査委員会  
委員長 **藤岡大拙**

今回で第8回目を迎えたしまね景観賞を募集するにあたり、前回までの方法を再検討し、一部を改正した。まず、民間からの応募数の増加を図るため「一般建築物部門」を「民間建築物部門」と「公共建築物部門」に分け、また、年月が経つことにより良くなったものを評価すべきとの考えから、特に「個人住宅部門」については建築時期の制限を取り止めた。

今回の応募数は、このような改正の効果があっただけでなく民間施設も多数あり、前回よりも増加して107件に及んだ。また、応募物件の分布は全県下に及び、その質も高いものが多く、徐々にではあるが県民に景観への意識が着実に高まっているといえるのではないかと。

選定にあたっては、現地審査を含め3回の審査会を開催し、以下のとおり11件の作品や活動が受賞することとなった。今回の受賞物件の特徴として、まちづくりに関連した施設が特に多かった。

大賞に選ばれた『カラコロ工房』は、銀行であった建物を撤去することなくこれを活用して工房という観光施設に変身させ、長く市民に慣れ親しまれた景観を保全し新たな現代風の景観を創出した点が高く評価された。

優秀賞は、4件である。「まち・みどり部門」からは、津和野町青野山の麓に広がる田園風景につつじが組み込まれることで風景が再構成された『麓耕つつじの里』、地域住民の取組により青石畳と歴史的町並みという地域資源を蘇らせた『美保関青石畳通り』の2件、「土木施設部門」からは、漁業集落の細い道を地元産の石材を使って整備し独特な味わいを出している『沖泊漁港漁業集落道』、「公共建築物部門」からは、落ち着いた色と球形の屋根により威圧感のない柔らかい印象を与える『大社文化プレイス』が、それぞれ評価され選ばれた。

奨励賞は6件である。「まち・みどり部門」の『町道岐久海岸線の土留擁壁及び切土法面緑化』、「土木施設部門」の『ウォーキング・トレイルはにわロード』、「民間建築物部門」の『みずほ楽器』、『総合福祉施設ミレ青山』、「個人住宅部門」の『曾田邸』、「工作物・その他部門」の『ヘルンの道整備文豪記念碑サイン』が選ばれた。これらはいずれも、地域の景観に溶け込むよう努力している点が評価された。

最終審査に残った物件は、いずれも表彰に値するものばかりであり、景観づくりを通じてふるさとの活性化のため努力されていることを実感した。今後、さらに多くの県民、事業者の皆様が積極的に取り組まれることを期待するとともに、この表彰が多くのの人々に支持されるよう、引き続き努力して行かねばならないと思っている。

# 大賞



カラコロ工房

## 所在地

松江市殿町43番地

## 事業主体

松江市

## 設計者

協同組合 建築技術センター

## 施工者

金見・松尾・伊藤 特別共同企業体

## 概要

鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造・木造  
地下1階 地上3階  
建築面積 1,333.54m<sup>2</sup>  
延床面積 2,514.78m<sup>2</sup>  
完成年月 平成12年1月



旧日本銀行松江支店のリニューアル（更新）計画である。スクラップ・アンド・ビルド（建てては壊す）の時代から既存の建築資産、都市資産を再活用するストックの時代を象徴する先進事例として高く評価したい。もとの設計は長野宇平治、夏目漱石の同級生で全国的に知られた建築家である。しかし、こうした著名な建築家の作品であれ、建築史的価値というだけで保存される例はほとんどなかった。親しまれた街並み景観への要素を維持しながら、新たな機能を付加するのがこれからの手法である。

本館に接して増設された工房棟の中庭のスケールがいい。板張りの床がカラコロ鳴るのもいい。工房という設定が成功の要因かもしれない。今のところ予想を超えた利用がなされていると聞いた。銀行の本館地下金庫のギャラリーも不思議な空間に再生されている。（布野修司）

# まち・みどり部門 優秀賞

## 麓耕つつじの里

### 所在地

鹿足郡津和野町大字耕田

### 事業主体

津和野町麓耕自治会景観整備実行委員会

### 概要

つつじ苗 10,000本植栽  
植栽面積 1ha  
平成10年4月から活動開始  
会員 21戸(85人)



間近に見える青野山は、紗を掛けた様にブルーに煙っていた。秋たけなわの麓耕つつじの里、周辺は白壁赤瓦の民家が点在し、黒い幹だけの柿、実をつけた柚子の古木がよいアクセントになり、日本の自然の一典型を切り取ったように美しい。9号線からJRの線路を渡り青野山を背になだらかな丘陵地、横に広がる棚田、大量のつつじがその土手に整然と植えてある、周辺は丁寧に手入れされ、かかわっている人たちの努力と想いが伝わって来る。先ず年に一度の真紅のつつじが満開の時、ここは絢爛たる舞台に替わる、後は雪月霧等々、四季折々の変化が過不足なく違った風情を見せてくれるであろうこと想像は容易だ。ずっと昔から日常的に手入れをしてきたという風に無理がない、実に上手に今までのところを損なうことなく新しいものを組み込むことで風景が再編成され生き生き豊かにした。見事な演出だ。ここからまた津和野に奥行きとふくらみを持たせ一段と魅力的なところとして印象づける要素の一つとなる。時々走るJRの電車も、全体の景観に面白味を添える。敢えて欲を言うと鯉のぼりは大胆に斜めに渡す(つつじの横の面に対し)方が、平面的単調さを破り、鯉が泳ぐとき、たちまちつつじはうねる紅の海と化すような趣となる。 (山谷裕子)

# まち・みどり部門 優秀賞

## 美保関青石畳通り



### 所在地

八東郡美保関町美保関

### 事業主体

美保関町商工会

### 概要

通路門の建て直し  
街路灯（防犯灯）の取り替え  
電柱の擬木化など



入江型的美保関港とそれを取り囲む背後の山々、さらに関の五本松とひよりやまという日和山など、漁村として恵まれた自然地形をもつ美保関は今も多くの景観資源を抱えている。かつて、美保関は江戸の北前船の西廻り航路の寄港地として栄え、この通りは多くの人々と物資が行き交ったが、近年空き家が目立ち顧みられなくなっていた。しかし、地元の人々の活性化に向けた熱心な取り組みから、青石畳と歴史的街並みという地域資源が蘇った。青石畳に紺の幟が映えて、歩いてみたい気になる。ただ一つ、港と青石畳通りとの分断を解消して、人々の動線をこの通りへと導くような工夫と仕掛けが欲しい。

今、空き家の活用や街並み整備など、美保関の内発的発展の準備は整いつつあり、さらに恵まれた地域資源を活かす仕組みを整えてその情報を発信できれば、美保関の未来は面白くなりそうだ。

（藤居良夫）

# まち・みどり部門 奨励賞



## 町道岐久海岸線の土留擁壁及び切土法面緑化

<b>所在地</b> 簸川郡多伎町	<b>設計者</b> (株)藤井基礎設計事務所	<b>概要</b> 切土法面・ジオファイバー 536m 盛土法面・補強土壁工 2,373m <sup>2</sup> 完成年月 平成8年8月
<b>事業主体</b> 多伎町	<b>施工者</b> 今岡工業(株) (有)立脇土建 (株)中筋組	



この事例のタイトルをすらすらと読むのは素人の私には難しかった。解ってみると何の事はない「コンクリートを見えなくするために緑を工夫して植えた」工事のことなのであった。そして名称が読みにくいと同じように、現場に行って「えっ、どこが？」と思うほど工事の跡が分からなかった。それほど自然なのである。壁面の勾配が急であること、浜風が強く砂土のため緑化が非常に困難であるという条件をそれぞれ克服して、全国的にも例が少ないという壁面緑化だそう。海に囲まれた島国である日本の海岸線は、コンクリートに覆われて自然状態の個所は本当に少ない。安全と経済的な理由で、景観の面をないがしろにされてきた海岸線をこの事例は取り戻そうとしているといえよう。

(田村美幸)

# 土木施設部門 優秀賞



## 沖泊漁港 漁業集落道



### 所在地

八東郡島根町沖泊地内

### 事業主体

島根町

### 設計者

(財)漁港漁村建設技術研究所

### 施工者

カナツ技建工業(株)

### 概要

延長 952.2m (新設352.5m、改良599.7m)  
完成年月 平成9年3月



漁業集落というと、急峻な山を背後に抱え、乏しい平場に密集して集落を形成している。これは、厳しい自然に対処して生活・生産を続ける住民の一体感を象徴する形態でもある。この地形構造と家並みの密集化が集落に対して独特の張りつめた雰囲気を生み出していて、これが却って都市や農村と異なり漁業集落での景観整備の難しさになってきている。この事例は、集落道といっても人がやっと通れるぐらいの小路を対象とした景観整備であり、集落内の全ての小路に渡って熱心に取り組まれた姿がうかがえる。寄せ敷きにした地場産の赤色の石が赤瓦の家並みと調和して、一体感のある漁業集落にさらに安定感と自己主張しょうじを与えている。排水路との区分や細部に渡る仕事はきめ細かく、何より地形を活かした整備がなされ、集落内部から海への眺め、さらに外側から集落への眺めに安心感が感じられる。

(藤居良夫)

# 土木施設部門 奨励賞



## ウォーキング・トレイル はにわロード

### 所在地

松江市佐草町～大庭町

### 事業主体

松江市

### 設計者

(株)LAT環境設計事務所山陰支店

### 施工者

(有)松雲建設興業

### 概要

延長 L=1.6km W=3m  
四阿3基、はにわ14基、案内サイン9基、ベンチ1基  
その他自然石及び石張舗装等  
植栽 高木78本、低木1,919本、地被類1,070m<sup>2</sup>  
完成年月 平成12年3月



「はにわロード」は、松江市南郊の古代歴史巡りの散策道として、出雲風土記に登場する八重垣神社から国宝の神魂神社にいたる1.6kmの農道や林道に手を加え整備をしたもので、沿道には、「木の实広場」や出雲風土記時代の島根半島をモチーフとした「入海いりうみの広場」等の休憩広場もある。

このロードを散策しながら思われることは、生活道として昔からある田舎道が、古代歴史ロードとして文化性を持った道として生まれ変わったにもかかわらず、古代ロマンのただよう沿道の自然や民家との間に違和感がないことである。そこでよく観察して気付いたことは、休憩広場も含め全てがコンクリートやコンクリート製品、その他新建材等の人工材が使われず、全て現地産の石材等の素材によって構成されていることである。このような気配りは「はにわ」ともよく調和し、広場におかれた子鹿の「はにわ」などは、まるで生きているかのような錯覚を覚えることさえある。

自然豊かな山村部の「道づくり」のあり方として、高く評価したい。  
(矢田清治)

# 公共建築物部門 優秀賞

## 大社文化プレイス

### 所在地

箕川郡大社町杵築南

### 事業主体

大社町

### 設計者

(株)伊藤豊雄建築設計事務所

### 施工者

鴻池組山陰支店・中筋組・岩成工業 特別共同企業体

### 概要

敷地面積 20,341m<sup>2</sup>

延床面積 5,847m<sup>2</sup>

構造 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）

完成年月 平成11年7月



この建築物は、うらら館のうち、だんだんホールを含む高さ20メートルの長方形の建物と、同じくうらら館のうちのごえんホールと図書館等を含む低い球形状の大屋根が緩やかにカーブを描く建物との複合的な建築物である。長方形の高い建物はコンクリートの地肌そのもの、球形状の屋根の色は、落ち着いたうすいグレーに仕上げられている。ゆったりと曲線を描いて広がる屋根のおかげで、全体の威圧感はまったく感じられない。しかも、落ち着いた色は、北山の緑と美しく調和して、神都大社の雰囲気になじんでいる。図書館部分の北側の屋根には、地上から上部にむかって芝生が植えつけられ、柔らかい印象をいっそう増幅させている。堀川をへだてた道の駅「吉兆館」あたりから眺める景観がもっともいいように思われる。建物の周囲にはウバメガシが植栽されているが、活着がすすみ、繁茂するようになれば、さらに景観は良好となるだろう。

(藤岡大拙)

# 民間建築物部門 奨励賞



みずほ楽器



## 所在地

浜田市浅井町

## 事業主体

(有)みずほ楽器

## 設計者

村上徹建築設計事務所

## 施工者

今井産業(株)

## 概要

建築面積 195.65m<sup>2</sup>

延床面積 666.03m<sup>2</sup>

構造 鉄筋コンクリート造地上4階建

完成年月 平成12年5月



この建物が面しているのは、JR浜田駅にほど近い、文化ホールやホテルが立ち並ぶ浜田の顔の一つと断言していい通りである。暖色系のブロックで舗装された歩道も広く、植栽もなされていて、近代的な明るい雰囲気が感じられる界隈である。店舗のほかに音楽教室も入っているこのビルには、遮音、防音に配慮しながらも閉鎖的なものにならぬよう、街並み景観へのプラスの効果を目指したいいくつかの工夫がなされている。

コンクリート打放し仕上げの外観は、形、色合いともにシンプルであるが、そこに穿たれた大中小の窓の配置が遊び心を感じさせる。幾何学的な抽象絵画を思わせるリズム感が楽しく、夜間には、赤、白、黄色など様々な色のカーテンが内部の光に映えて、一層その効果を強めることとなる。また、上層部の外壁は一部切り取られた格好になっていて空が見え、開放感を加味している。

外からの視線を意識した、決して声高ではない抑制の効いた「自己主張」が、まちの表情に新鮮な彩りを添えている。

(八田典子)

# 民間建築物部門 奨励賞

## 総合福祉施設 ミレ青山

### 所在地

江津市二宮町神主

### 事業主体

社会福祉法人いわみ福祉会

### 設計者

(株)沖本初建築設計事務所

### 施工者

(株)原工務所

### 概要

延床面積 2,999.78m<sup>2</sup>  
構造 鉄筋コンクリート造平屋建  
完成年月 平成12年7月



江津市西部の住宅地の一角にある、高齢者向けの総合福祉施設である。一帯はゆるやかな傾斜地であり、真っ直ぐに上がってきた坂道がこの建物の正面に突き当たる格好でカーブしており、かなり目立つ位置に建っていると言える。それだけに、視点場としては、日本海まで見渡せる眺望に優れた場所である。

フラットな外観やアプローチ部分の植栽がかもし出すゆったりとした雰囲気は、この施設の性格のみならず周辺環境にも相応しいものであろう。外壁に取り付けられた格子や前面に張り出したテラスには「木」が用いられていて、「あたたかさ」を感じさせる演出となっている。ガラス張りの部分も多く、明るく開放的な印象も受けた。

日が暮れると、暖色系の光に満たされ、街角を彩る。近接地には、今後他校と統合・新築される予定の中学校があり、この建物の前が通学路となっているが、家路を急ぐ生徒たちにもあたたかさを感じさせる存在であることだろう。(八田典子)

# 個人住宅部門 奨励賞



曾田 邸

## 所在地

八東郡美保関町大字千酌

## 事業主体

曾田康男

## 設計者

建築設計事務所 飛鳥工房

## 施工者

(株)タニシ

## 概要

延床面積 134.36m<sup>2</sup>  
構造 木造一部鉄筋コンクリート造  
地下1階地上1階



国立公園内に建つ個人住宅である。

かなりの急斜面であり、冬にはかなりの強風が吹きつける、普通は宅地には相応しくない立地である。しかし、気候のいい、特に夏などは、そのまま海に降りていけそうな、うらやましくなるような敷地だ。

国立公園内ということもあって、豊かな樹木はそのまま残されている。建設に当たって新たな植栽もなされている。プランニングも地形に沿った形で樹冠のラインを大きく遮らないよう配慮されている。海を介して千酌港の岸壁から眺める景観がその設計意図をよく表しているように思えた。すなわち、この住宅は徒に自己主張することなく、豊かな緑の中に沈み込んでいる。また、緑に赤瓦が映えている。

こうした地形や緑、景観に対する配慮は、設計の基本であり、国立公園に限らないであろう。個々の住宅の設計においても景観は問われている。そのひとつの好例として評価したい。

(布野修司)

# 工作物・その他部門 奨励賞



## ヘルンの道整備 文豪記念碑サイン

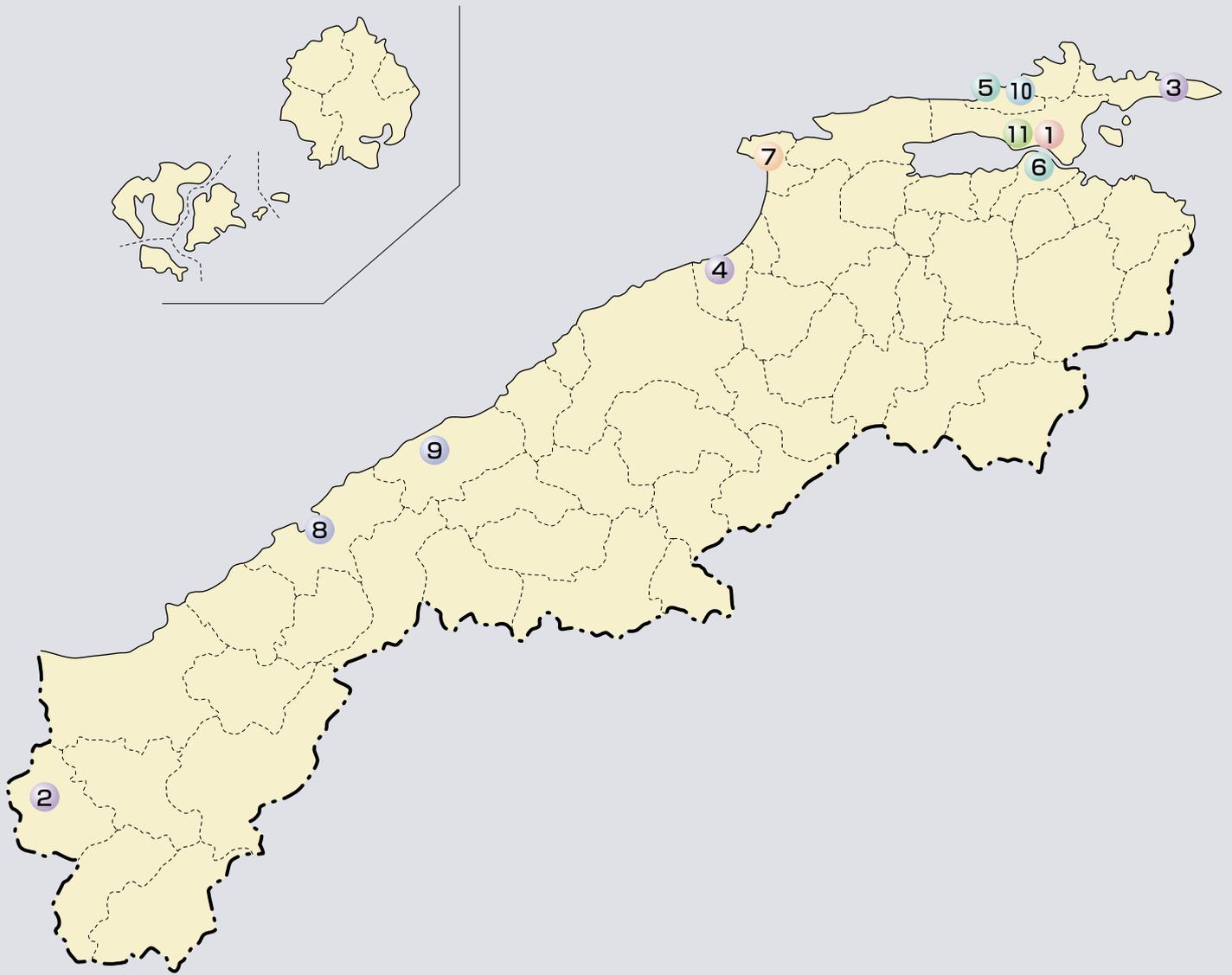
<b>所在地</b> 松江市内中原町地内	<b>設計者</b> (株)アテナ	<b>概要</b> 記念碑サイン 1基、自然石ベンチ 1基、 自然石スツール 3基、角景石 1基、 来待石表示板 1基 完 成 年 月 平成12年7月
<b>事業主体</b> 松江市	<b>施工者</b> (株)庭の川島	



人気の堀川遊覧船の行き交う城山西堀川にかかる古い亀田橋。そのもとに大正の初期、文豪芥川龍之介や志賀直哉が暮らした家があった。松江市ではヘルンの道整備事業として堀川沿いの散策路を整備しているが、その一環としてこの橋近くに小さな公園が整備され「文豪記念碑サイン」が設置された。この公園の整備に当たっては付近全世帯にアンケート調査、また数回にわたってワークショップが実施され、住民の意向を反映した整備がなされたと聞く。

志賀直哉はその著「堀端の住まひ」のなかで、「人と人との交渉のなかで疲れきった都会の生活から来ると大変心が安まった。虫と鳥と魚と水と草と空と、それから最後に人間との交渉のある暮らしだった。」と記している。

堀の水面越しに見える城山の緑の樹木を背景に静かで落ち着いた雰囲気のある公園に設置されたサインは、地元産の島石を使い、高さも堀川への視線を妨げぬよう低く抑えられ、島石のベンチに腰掛けて記念碑を読むというのどかな配慮がなされている。あまり自己主張しないおとなしい小さな公園とサインではあるが、それがかえって直哉が書いたこの地域の雰囲気に適した好ましいものと感じられる。  
(小草伸春)



## 表彰事業・作品

### 大賞

- ① カラコロ工房  
事業主体／松江市

### まち・みどり部門 優秀賞

- ② 麓耕つつじの里  
事業主体／津和野町麓耕自治会景観整備実行委員会

### まち・みどり部門 優秀賞

- ③ 美保関青石畳通り  
事業主体／美保関町商工会

### まち・みどり部門 奨励賞

- ④ 町道岐久海岸線の土留擁壁及び切土法面緑化  
事業主体／多伎町

### 土木施設部門 優秀賞

- ⑤ 沖泊漁港 漁業集落道  
事業主体／島根町

### 土木施設部門 奨励賞

- ⑥ ウォーキング・トレイル はにわロード  
事業主体／松江市

### 公共建築物部門 優秀賞

- ⑦ 大社文化プレイス  
事業主体／大社町

### 民間建築部門 奨励賞

- ⑧ みずほ楽器  
事業主体／(有)みずほ楽器

### 民間建築部門 奨励賞

- ⑨ 総合福祉施設 ミレ青山  
事業主体／社会福祉法人いわみ福祉会

### 個人住宅部門 奨励賞

- ⑩ 曾田邸  
事業主体／曾田康男

### 工作物・その他部門 奨励賞

- ⑪ ヘルンの道整備 文豪記念碑サイン  
事業主体／松江市

平成12年度

## 第8回 しまね景観賞



しまね景観賞表彰銘板  
アルミ合金鋳物製

### 審査委員

- 小草 伸春 島根県建築士事務所協会会長
- 田村 美幸 公共の色彩を考える会委員長
- 八田 典子 島根県立大学助教授
- 藤居 良夫 信州大学工学部助教授
- 藤岡 大拙 島根女子短期大学学長
- 布野 修司 京都大学工学部助教授
- 矢田 清治 島根県建築士会会長
- 山谷 裕子 画家
- 飯塚 紀 島根県環境生活部長

敬称略/50音順 ○印は審査委員長

### 審査経過

- 募集期間  
平成12年7月10日(月)～9月10日(日)
- 募集結果  
推薦(応募)総数……107通  
推薦(応募)物件数…97件
- 第1回審査委員会(平成12年6月2日)  
対象物、募集方法、審査日程、審査基準等の検討。
- 第1次審査(平成12年9月25日～10月2日)  
推薦書類、写真により第二次審査の対象となる34物件を選出。
- 第2回審査委員会(平成12年11月5日・6日)  
選出された34物件・活動について現地審査及び最終審査を行い、11物件を選定。
- 表彰式(平成13年2月7日)  
受賞物件の事業主体、設計者、施工者に対して賞状を、事業主体には副賞として銘板も併せて贈呈。

## 第8回 しまね景観賞第2次審査対象物件一覧

応募部門	物件名称	所在地
まち・みどり部門	水仙の花咲く里づくり事業 ※麓耕つつじの里 ※町道岐久海岸線の土留擁壁及び切土法面緑化 「善導寺横町」(景観に配慮した道路づくり) 花と交流の里づくり ※美保関町青石畳通り 緑ヶ丘団地 (日立金属(株)安来工場住宅)	益田市西平原町唐音海岸 鹿足郡津和野町大字耕田 簸川郡多伎町 松江市寺町 仁多郡仁多町林原 八束郡美保関町美保関 安来市緑ヶ丘
土木施設部門	※沖泊漁港 漁業集落道 ハッシータワーと砂丘トンネル 松江駅前広場 ※ウォーキング・トレイル はにわロード 大音寺橋、長屋橋 平田船川(湯谷川)広域基幹河川改修事業 斐伊川県単砂防環境整備事業	八束郡島根町沖泊地内 浜田市久代町1117番地 松江市朝日町 松江市佐草町～大庭町 大田市大森町 平田市平田町 仁多郡横田町大字竹崎
公共建築物部門	三刀屋町文化体育館(アスパル) かやぶき交流館 ※カラコロ工房 むいかいち温泉 ゆ・ら・ら ※大社文化プレイス インフォメーションセンターかわもと 出雲市立神門幼稚園	飯石郡三刀屋町大字古城 八束郡八雲村大字平原 松江市殿町43番地 鹿足郡六日市町六日市 簸川郡大社町杵築南 邑智郡川本町大字因原 出雲市知井宮町
民間建築物部門	※みずほ楽器 ※総合福祉施設 ミレ青山 「櫛がるてん」 介護老人福祉施設 みどりの里やすらぎ荘 かたくりの里	浜田市浅井町 江津市二宮町神主 鹿足郡柿木村下須 邑智郡川本町大字因原 仁多郡横田町大字竹崎
個人住宅部門	桑原邸 ※曾田邸 生馬ヶ丘の家 永井邸 再生工事	出雲市荻籽町 八束郡美保関町大字千酌 松江市東生馬町 松江市大垣町
工作物・その他部門	※ヘルンの道整備 文豪記念碑サイン 幻想的な夜景 三成愛宕山イルミネーション 向月庵駐車場 樹木のネーム板	松江市内中原町地内 仁多郡仁多町大字三成 松江市苧町 松江市京橋川沿い

受付順 ※は受賞作品

